

2025 年 12 月 8 日
株式会社ピエクレックス

GREEN×EXPO 協会 事務総長 河村正人氏、武井壮氏が登壇しメディア発表会を開催
Team P-FACTS、GREEN×EXPO 2027 における
循環型ユニフォームの取り組み、デザイン思想を明らかに
～衣服を使い捨てるから、自然に還るへーGREEN×EXPO 2027 が描く“循環の未来”～

株式会社村田製作所の完全子会社である株式会社ピエクレックス（本社：滋賀県野洲市、代表取締役社長：玉倉大次）は、2025 年 11 月 27 日（木）、2027 年に横浜市で開催される「GREEN×EXPO 2027」における「Team P-FACTS（チーム・ピーファクト）」の取り組みについて、メディア発表会を開催しました。

Team P-FACTS は、GREEN×EXPO 2027 で活動する 1 万人規模の運営・ボランティアスタッフに“土に還る”P-FACTS 認証素材を用いたユニフォームを提供し、会期後に回収・堆肥化する循環モデルの実証に取り組みます。

今回の発表会では、GREEN×EXPO 協会（正式名称:公益社団法人 2027 年国際園芸博覧会協会）事務総長・河村正人氏、ピエクレックスブランドアンバサダー 武井壮氏らが登壇。循環型ユニフォームの意義や「衣服を使い捨てるから、自然に還る」未来像が語られました。



また、スタッフユニフォームの企画を、循環をデザインするライフスタイルブランド「ENSULO（エンスーロ）」デザイナー・岡部健史氏が担当することを発表しました。

岡部氏からは、“どう自然に還るか”を起点にしたデザイン思想が紹介されました。

たとえば、ウエスト部分に一般的なゴムを使わず土に還りやすい紐仕様にするほか、分解しやすい縫製や堆肥化を妨げない素材・加工を採用するなど、循環を阻害しない構造を追求しています。

さらに、循環性のみを優先すると着心地が犠牲になりやすいという課題に対し、「長時間着用するスタッフが、また着たいと思えるデザイン・快適さ」も重視。循環性と着心地の両方を担保する“持続可能な着用体験”を目指したユニフォームとして、そのデザイン思想が示されました。

■ 発表会概要

日時：2025年11月27日（木）13:30～15:00

場所：株式会社村田製作所 本社

登壇：

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会 事務総長 河村 正人氏

株式会社ピエクレックス 代表取締役社長 玉倉 大次

ピエクレックス ブランドアンバサダー 武井 壮氏

株式会社村田製作所 執行役員 技術・事業開発本部 事業インキュベーションセンター センター長

兼 株式会社ピエクレックス 取締役 CTO 安藤 正道

グラフィイト株式会社（ENSULO デザイナー） 岡部 健史氏



■ 登壇者コメント（抜粋）

公益社団法人 2027年国際園芸博覧会協会 事務総長 河村 正人氏

「植物由来の素材のユニフォームを着用し、役目を終えた後は回収し、堆肥化を経て植物へと還していく。このシンプルで力強い循環のストーリーを、“理念”に留まらず、来場者が実際に“体験”できることに大きな意義があります。」

株式会社ピエクレックス 代表取締役社長 玉倉 大次

「衣類は作って終わりではなく、最後まで責任を持つ時代です。ピエクレックスは、1社では難しい循環の仕組みづくりを多くのパートナーとともに推進しています。GREEN×EXPO 2027の舞台で、この循環を多くの人に体験いただける意義は大きく、その先に国内外への横展開も見据えています。」

ピエクレックス ブランドアンバサダー 武井 壮氏

「服が堆肥になり、植物を育て、また人に戻ってくる。P-FACTS（ピーファクト）により、その循環が“体験できる物語”になると感じています。デザインには行動を変える力があり、服を選ぶところから社会は変わっていきます。」

株式会社村田製作所 執行役員 技術・事業開発本部 事業インキュベーションセンター センター長

兼 株式会社ピエクレックス 取締役 CTO 安藤 正道

「P-FACTS（ピーファクト）を通じ、人々が自発的に社会課題の解決へ関わる“未来の風景”をつくりたい。今回の取り組みは、大阪・関西万博から GREEN×EXPO 2027へと続く循環のバトンです。」

グラフィイト株式会社（ENSULO デザイナー） 岡部 健史氏

「今回のユニフォームは“どう自然に還るか”を起点にデザインしています。着ていたくなる服であるとともに、“循環の邪魔をしない構造・素材”を徹底しました。服が“終わる存在”ではなく、循環のプレイヤーになる未来をデザインしています。」

■ 「Team P-FACTS（チーム・ピーファクト）」の概要と取り組みについて

「Team P-FACTS（チーム・ピーファクト）」は、株式会社ピエクレックスを代表構成員、株式会社 V&A Japan を構成員として結成された共創チームです。今後、「P-FACTS」（ピーファクト）の循環における各工程（素材・製造・回収・堆肥化・再資源化など）を担う企業・団体が順次参画し、取り組みを拡大していく予定です。

先日発表した「サーキュラー・ユニフォーム社会実証プロジェクト（PoC）」をはじめ、複数のプロジェクトを GREEN×EXPO 協会と共同で準備中です。これらの取り組みでは、来場者が展示や体験を通じて“自然と循環のプロセスを感じ取れる”仕組みを創出します。

■ GREEN×EXPO 2027 開催概要

名 称：2027年国際園芸博覧会

(International Horticultural Expo 2027, Yokohama, Japan)

正式略称：GREEN×EXPO 2027 (グリーンエクスポニーゼロニーナナ)

開催場所：神奈川県横浜市

開催期間：2027年3月19日(金)～2027年9月26日(日)

テーマ：幸せを創る明日の風景 ～Scenery of the Future for Happiness～

博覧会区域：約100ha(内、会場区域80ha)

クラス：A1(最上位) クラス(AIPH 承認+BIE 認定)

参加者数：1500万人(有料来場者数：1,000万人以上)

公式サイト：<https://expo2027yokohama.or.jp/>

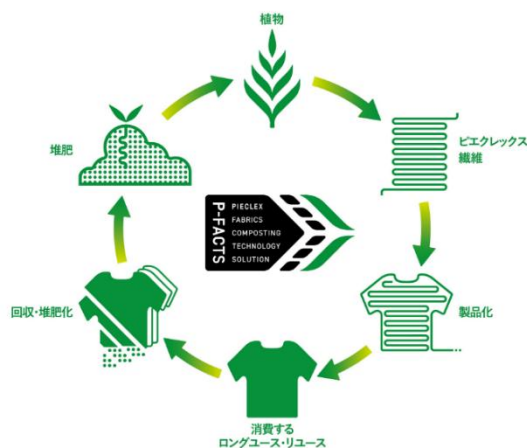


公式マスコットキャラクター
「トウキョウトウキョ」

■ 「P-FACTS」(ピーファクト) について

「P-FACTS」(ピーファクト：PIECLEX Fabrics Composting Technology Solution) は、ピエクレックス社が植物由来のポリ乳酸素材「電気の繊維」ピエクレックスを使用したアパレル製品や繊維製品を回収し、堆肥化までを一貫して行う循環インフラです。多くのパートナー企業、自治体、福祉施設、学校法人などのステークホルダーと連携し、既に運用が始まっています。

この循環インフラは、地域で使用された製品を地域で再利用する「地着地消地循」の考えに基づき、消費者が簡単に参加できる持続可能なファッション社会の実現を目指しています。「P-FACTS」に対応する製品には、「堆肥化し新しい植物を育む」ことを保証する P-FACTS 認証マークが付与されており、環境にやさしい選択肢を提供しています。



P-FACTS 認証マーク

繊維が堆肥となり、新たな植物が芽吹く様子をデザインしています。

■ 株式会社ピエクレックスについて

株式会社ピエクレックスは、イノベーションを通じて世界に貢献する村田製作所の100%子会社として、企業ビジョン「“でんき(電気)のせんい(繊維)”で世界を変える」を掲げ、電気の繊維「ピエクレックス」を通じた革新を推進しています。当社は、村田製作所と帝人フロンティアの共同出資によって設立され、両社の強みを融合させた新素材「ピエクレックス」を開発しました。ピエクレックスは革新性とともに環境へのやさしさを兼ね備えており、アパレル、ヘルスケア、一般消費財、産業分野など、幅広い用途に応用可能です。

現在、ピエクレックスは多くの繊維関連企業と協力し、持続可能な社会の実現に向け、循環インフラ「P-FACTS」(ピーファクト)の社会実装に取り組んでいます。P-FACTS 認証の製品を「着るだけ、使うだけ」で、地球にも人にもやさしい未来を実現するために、今後も新たな価値を創造し続け、社会に貢献してまいります。

ピエクレックス公式サイト : <https://pieclex.com/>

公式 YouTube チャンネル : <https://www.youtube.com/channel/UCAoOivJOkh2MEDywpvSLXGA>

公式 X アカウント : https://x.com/PIECLEX_JP

公式 Instagram アカウント : https://www.instagram.com/pieclex_official/

«本件に関するお問い合わせ先»

株式会社ピエクレックス （担当：井上）

TEL : 077-586-8135 MAIL : information@pieclex.com